

# 第37回 社会言語科学学会大会

Program of the 37th Biannual Meeting of the Japanese Association of Sociolinguistic Sciences

日時 **2016.3.19 (土) ~ 20 (日)** 場所 **日本大学**  
 〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

**交通** (1)京王線, 東急世田谷線 「下高井戸」駅下車 徒歩8分 / (2)京王線 「桜上水」駅下車 徒歩約8分  
**参加費** (大会論文集1冊込) 会員: 3,000円 / 非会員: 5,000円 / 学生会員: 2,000円 / 学生非会員: 4,000円 (事前申込み(割引)の期限等につきましてはホームページをご覧ください)  
**お問い合わせ先** 社会言語科学学会研究大会委員会 E-mail: jass-desk@bunken.co.jp http://www.jass.ne.jp/another/?page\_id=2

## 3月19日(土)

9:30	<b>受付開始</b> (3号館1F ロビー)				
10:00	<b>開会</b>				
10:00 - 10:30	口頭発表	<b>&lt;セッション1&gt;</b> (3号館3F 3303教室) 司会: 大場 美和子 (昭和女子大学) 繰り返し同時発話はなぜ生じるのか—メタコミュニケーションからの日本語異ジャンル間比較— 竹田 らら (東京電機大学)	<b>&lt;セッション2&gt;</b> (3号館3F 3305教室) 司会: 杉浦 秀行 (茨城大学) ほめ連鎖はどのように終了に向かうのか—「ほめ」を巡るほめ手と受け手の交渉— 張 承姫 (関西学院大学・日本学術振興会)	<b>&lt;セッション3&gt;</b> (3号館3F 3308教室) 司会: 橋本 直幸 (福岡女子大学) 日・英語初対面会話に見られる引用ストラテジーと意味の多層性の構築 岩田 祐子 (国際基督教大学)	<b>&lt;セッション4&gt;</b> (3号館3F 3310教室) 司会: 安井 永子 (名古屋大学) 言語景観から探るハワイ特有の日本語起源借用語 長門 正大 (首都大学東京)
10:35 - 11:05		自閉症スペクトラムの症状のメタコミュニケーションへの表出—二者間会話の共同構築をめぐる— 合崎 京子 (立教大学)	彼はなぜ話し続けたのか—独占されたNS-NNSディスカッションをめぐる内省と会話分析— 中村 香苗 (淡江大学)	親族間で運用される他称詞のゆれ—弱者を救う視点の取り方— 小森 由里 (国際基督教大学, 立教大学)	在日外国人の母語における日本語借用語「定住語」—在日外国人向けポルトガル語誌・スペイン語誌からの抽出とその分析— 斎藤 敬太 (首都大学東京), 志喜屋 カロリーナ (首都大学東京)
11:10 - 11:40		約束をキャンセルするメールの談話構造—当日キャンセルのメールの分析— カムトーンティップ タワット (大阪大学)	教室談話の相互行為的制度化—中学校での授業場面における拳手行動の観察から— 小出 優子 (立命館大学), 岡本 雅史 (立命館大学)	『坊ちゃん』からみた日本語とシンハラ語における肯定・否定応答表現の比較 ウィラシンハ デイリニ (首都大学東京)	在英邦人との国際結婚家庭における家庭内言語政策とその実態 秦 かおり (大阪大学)
11:45 - 12:15		パフォーマンスとしてのほめ／ほめ返答—恋人間会話分析— 大塚 生子 (大阪工業大学)		企業経営者との対話を通じたインターン留学生のキャリア探索 横須賀 柳子 (国士舘大学)	多言語使用児童のtranslanguagingの「社会的」分析—継承語使用と「声(voicing)」— 山下 里香 (東京大学)
13:15 - 13:20	<b>開催校ご挨拶</b> (3号館3F 3307教室)				
13:20 - 13:25	<b>会長挨拶</b> (3号館3F 3307教室)				
13:25 - 14:45	<b>大会発表賞授賞式</b> (3号館3F 3307教室) <b>徳川宗賢賞授賞式および記念講演</b> <b>萌芽賞</b> モスク教室における在日パキスタン人児童のコードスイッチング 山下 里香 (東京大学・日本学術振興会) 知的障害者への「わかりやすい」情報提供に関する検討—「ステージ」の実践と調査を中心に— 打浪 (古賀) 文子 (淑徳大学短期大学部) 相互行為としてのほめとほめの応答—聞き手の焦点ずらしの応答に注目して— 張 承姫 (関西学院大学・日本学術振興会)				

15:00 - 18:00	シンポジウム	<b>&lt;シンポジウム&gt;</b> (3号館3F 3307教室) 「異文化理解のための解放的語用論」 課題解決談話にみる自己と他者—日本語・英語・韓国語・タイ語の比較からの解放的語用論— 藤井 洋子 (日本女子大学) 日英語の語りに対する共感的理解の様態—解放的語用論の視点— 植野 貴志子 (東京都市大学) 名詞表現への選好性に見られる語用論的基盤の言語差—日韓語を対象として— 堀江 薫 (名古屋大学) 日・英語のナラティブに見る空間的視点取りの異同について 片岡 邦好 (愛知大学) 動的対話相互行為としての文化理解 片桐 恭弘 (公立はこだて未来大学)
---------------	--------	--

## 3月20日(日)

9:30	<b>受付開始</b> (3号館1F ロビー)			
10:30 - 11:45	ポスター発表	司会: 坊農 真弓 (国立情報学研究所) (3号館3F 廊下) <b>P-01</b> 読字障害を持つ児童への支援について—タブレットの読み上げ機能を用いたテストを通して— 板垣 静香 (関西学院大学), 青戸 正裕 (神戸市立霞ヶ丘小学校)	<b>P-02</b> 勧誘の場面で用いられる否定疑問文はなぜポライトな表現になるのか 許 夏玲 (東京学芸大学)	計14件

13:00 - 13:30	口頭発表	<b>&lt;セッション5&gt;</b> (3号館3F 3303教室) 司会: 嶋 ちはる (国際教養大学) 「もし私と会ってデートをしてくれるなら・・・」—「逆襲」スパムメールをどのように読み取るか— Peter Backhaus (早稲田大学)	<b>&lt;セッション6&gt;</b> (3号館3F 3305教室) 司会: 建石 始 (神戸女学院大学) 外国人居住者の日本語使用に対する当事者評価—単言語使用地域出身者と多言語使用地域出身者の言語習慣との関わりを中心に— 高 民定 (千葉大学), 村岡 英裕 (千葉大学)	<b>&lt;セッション7&gt;</b> (3号館3F 3308教室) 司会: 中東 靖恵 (岡山大学) 会話における副詞的成分「たしかに」の認知プロセスの特徴 岩崎 拓也 (一橋大学)	<b>&lt;セッション8&gt;</b> (3号館3F 3310教室) 司会: 田附 敏尚 (神戸松蔭女子学院大学) 「今」、「最近」の自己と英語と英語学習—相互行為的視座による態度, アイデンティティ, 英語学習動機へのアプローチ— 岡田 悠佑 (大阪大学)
13:35 - 14:05		バイセクシュアル(両性愛者)への視点—性的少数者間での序列化の暗示性／明示性— 木場 安莉沙 (大阪大学)	ヘッジ使用における逆行転移の可能性—中国人日本語学習者の「不同意」行為をデータとして— 堀田 智子 (東北大学)	誤解研究の意義—発話の字義的意味と行為としての意味の不可分性— 岡久 太郎 (京都大学)	日本人と外国人の英語会話における対人関係の構築—English (英語)をめぐるやりとりに焦点をあてて— 山本 綾 (昭和女子大学)
14:10 - 14:40		政府刊行物の「わかりやすい版」の言語的特徴—知的障害者が制度を理解するという観点による考察— 羽山 慎亮 (名古屋大学), 打浪 文子 (淑徳大学短期大学部), 藤澤 和子 (大和大学)	香港における言語市場と日本語教育の変容—民間日本語学校を事例として— 青山 玲二郎 (香港理工大学)	沈黙は誰に属するのか—語用実践行為としての沈黙の主体— 種市 瑛 (立教大学)	日本人大学生が持っている英語に対するイメージと英語母語話者主義が与えている影響について 五十嵐 優子 (武庫川女子大学)
14:45 - 15:15			香港の高等教育機関で日本語を専攻とする学生の学び—学習意欲と学習ストラテジーのミスマッチ— 羅 安碧 (香港城市大学)	日本語の間接依頼発話行為における「慣習性」—障害仮説に基づく検討— 張 麗 (広島大学)	